

# 景気見通し調査(平成30年3月期)

## 調査結果

福井商工会議所  
中小企業総合支援センター

### 【調査の概要】

当調査は、福井商工会議所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回実施している。

**調査時期** 平成30年3月8日(木)～3月15日(木)

**調査方法** FAXによる送付、回収

**調査対象** 福井商工会議所 会員小規模事業所より 400件を抽出

(製造業・建設業・・・従業員20人以下の事業所

卸売業・小売業、商業・サービス業・その他・・・従業員5人以下の事業所)

**回答数** 204件 (回収率51.0%)

	製造業	建設業	卸売業	小売業	サービス業	合計
5名以内	17	17	19	12	18	83(46.3%)
6～10名以内	14	6	3	5	5	33(18.4%)
11名以上	18	14	9	4	18	63(35.3%)
計	49(27.4%)	37(20.7%)	31(17.3%)	21(11.7%)	41(22.9%)	179

※業種未回答 25件除く

### DI値とは

ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良い」「上昇した」とする企業割合から、「悪い」「下落した」とする企業割合を差し引いた値。「現在」DI値は3か月前を基準とした現在の状況、「先行」DI値は今後3か月後の状況を予測したもの。

【調査結果の概要】

豪雪の影響で4期ぶりの悪化傾向

～全業種で採算悪化するも、今後は回復を見込む～

■業界の景況

- ・4期ぶりの悪化
- ・建設業のみ数値改善
- ・3ヶ月後は建設・サービス業が悪化の見込み

■仕入価格

- ・2期ぶりの改善
- ・建設・卸売業のみ悪化
- ・3ヶ月後は建設業以外は悪化の見込み

■自社の景況

- ・4期ぶりの悪化
- ・サービス業のみ改善
- ・3ヶ月後はサービス業のみ悪化の見込み

■販売価格

- ・2期ぶりの悪化
- ・建設業のみ改善
- ・3ヶ月後は建設・サービス業以外は改善の見込み

■売上高(受注高)

- ・2期ぶりの悪化
- ・建設業のみ改善
- ・3ヶ月後はサービス業以外は改善の見込み

■採算(収支)

- ・2期ぶりの悪化
- ・全業種において悪化
- ・3ヶ月後は全業種において改善の見込み

■業界別の動向

業種	コメント	前回調査との比較					
		業界の景況	自社の景況	売上高 (受注高)	仕入価格 (商品、資材、原材 料等)	販売価格 (受注単価)	採算 (収支)
全業種		↓	↓	↓	↑	↓	↓
製造業	+ 受注が好調	↓	↓	↓	↑	→	↓
	+ 客先の設備投資が活発	↓	↓	↓	↑	→	↓
	- 受注単価の低位安定	↓	↓	↓	↑	→	↓
	- 2月の豪雪のため売上減	↓	↓	↓	↑	→	↓
建設業	+ 受注が好調	↑	↓	↑	↓	↑	↓
	- 官公庁の予算減	↑	↓	↑	↓	↑	↓
	- 豪雪のため、工事が遅延	↑	↓	↑	↓	↑	↓
	- 営業力不足	↑	↓	↑	↓	↑	↓
卸売業	- 国内外ともに業界低迷	↓	↓	↓	↓	→	↓
	- 豪雪による営業ストップ	↓	↓	↓	↓	→	↓
	- 受注不足	↓	↓	↓	↓	→	↓
	- 野菜、果物の不作による価格高騰	↓	↓	↓	↓	→	↓
小売業	- 仕入単価の上昇	↓	↓	↓	↑	↓	↓
	- 大型量販店との競争	↓	↓	↓	↑	↓	↓
	- 不漁・消費者の魚離れ	↓	↓	↓	↑	↓	↓
	- 雪による購買の減少	↓	↓	↓	↑	↓	↓
サービス業	- 人手不足が深刻過ぎる	↓	↑	↓	↑	↓	↓
	- 豪雪による流通の滞り	↓	↑	↓	↑	↓	↓
	- 販売価格の安さ	↓	↑	↓	↑	↓	↓
	- 公共工事の減少	↓	↑	↓	↑	↓	↓

※青の矢印は改善を、赤の矢印は悪化、白の矢印は維持を表している。

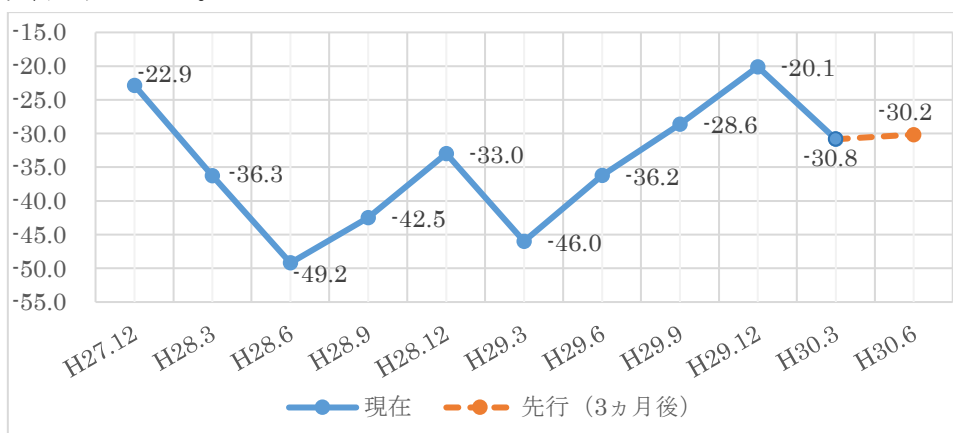
■調査結果概要(調査項目)

	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
<b>業界の景況</b>	-30.8	-10.7	-30.2	0.6
製造業	-34.5	-17.9	-28.8	5.7
建設業	9.8	12.1	-5.4	-15.2
卸売業	-62.9	-12.9	-55.9	7.0
小売業	-67.9	-36.8	-44.0	23.9
サービス業	-14.3	-0.6	-24.4	-10.1
<b>自社の景況</b>	-30.3	-7.9	-24.4	5.9
製造業	-25.5	-7.9	-16.7	8.8
建設業	-7.3	-5.0	6.7	14.0
卸売業	-60.0	-10.0	-58.1	1.9
小売業	-57.1	-24.8	-22.2	34.9
サービス業	-16.7	3.8	-34.4	-17.7
<b>売上高</b>	-28.0	-10.4	-22.8	5.2
製造業	-18.2	-6.9	-16.7	1.5
建設業	-9.8	9.2	0.0	9.8
卸売業	-62.9	-41.0	-48.6	14.3
小売業	-39.3	-22.1	-29.6	9.7
サービス業	-22.0	-1.1	-26.8	-4.8
<b>仕入価格</b>	-33.2	3.7	-41.5	-8.3
製造業	-36.4	6.2	-44.4	-8.0
建設業	-39.0	-8.0	-39.0	0.0
卸売業	-41.2	-6.8	-58.8	-17.6
小売業	-17.9	23.5	-18.5	-0.6
サービス業	-26.3	7.9	-40.5	-14.2
<b>販売価格</b>	2.0	-2.0	7.2	5.2
製造業	-1.9	0.0	9.4	11.3
建設業	5.0	0.2	5.0	0.0
卸売業	0.0	0.0	8.8	8.8
小売業	7.1	-9.6	14.3	7.2
サービス業	2.5	-2.4	0.0	-2.5
<b>採算(収支)</b>	-32.0	-9.7	-27.4	4.6
製造業	-27.3	-5.1	-24.1	3.2
建設業	-17.1	-0.8	-12.2	4.9
卸売業	-60.0	-22.5	-54.3	5.7
小売業	-35.7	-25.7	-26.9	8.8
サービス業	-26.8	-1.2	-24.4	2.4

※青の塗潰しは改善を、赤の塗潰しは悪化を表している。

## 【業界の景況】

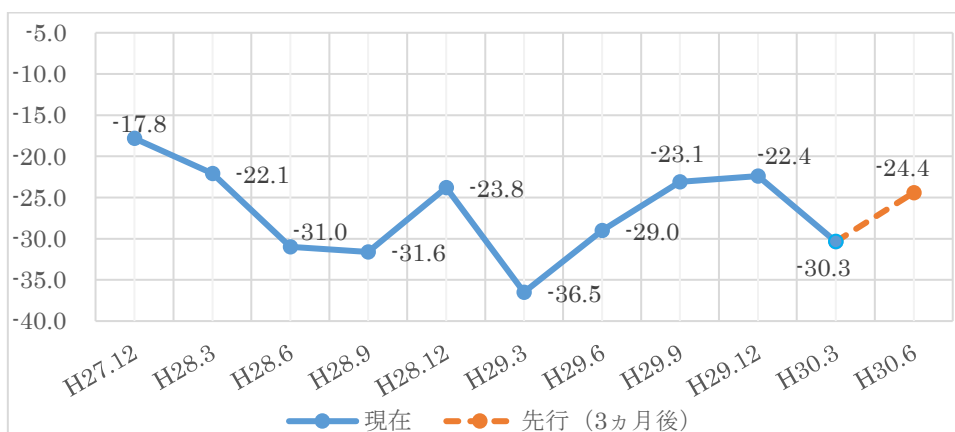
業界全体の現在 DI 値は▲30.8 を示し、前回調査（H29.12 期）から 10.7 ポイント悪化し、4 期ぶりの悪化となった。3 ヶ月後の動向を表す先行 DI 値は▲30.2 で、わずかな改善を見込んでいる。業種別では、製造業が▲34.5、建設業が 9.8、卸売業が▲62.9、小売業が▲67.9、サービス業が▲14.3 となっている。前回調査と比較すると、建設業のみ改善が見られた。



業界の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-30.8	-10.7	-30.2	0.6
製造業	-34.5	-17.9	-28.8	5.7
建設業	9.8	12.1	-5.4	-15.2
卸売業	-62.9	-12.9	-55.9	7.0
小売業	-67.9	-36.8	-44.0	23.9
サービス業	-14.3	-0.6	-24.4	-10.1

## 【自社の景況】

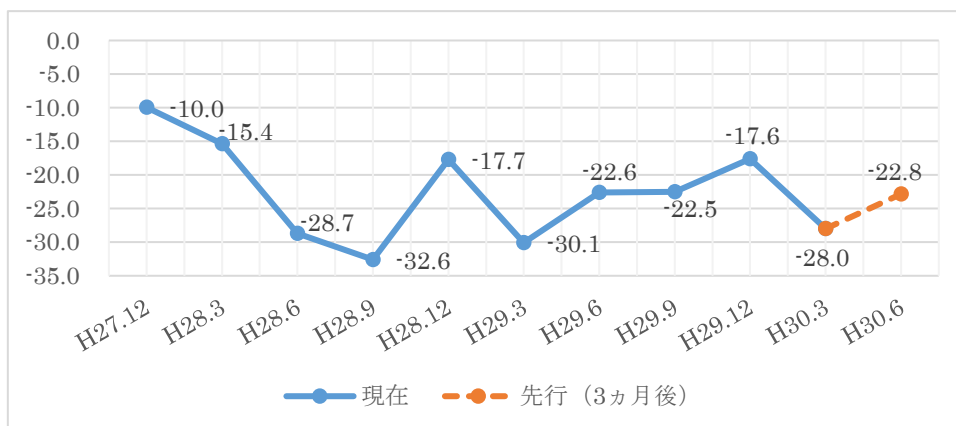
自社の景況は、現在 DI 値▲30.3 となり、前回調査より 7.9 ポイント悪化した。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲24.4 で、現在より 5.9 ポイントの改善を見込んでいる。業種別では、製造業が▲25.5、建設業が▲7.3、卸売業が▲60.0、小売業が▲57.1、サービス業が▲16.7 を示した。前回調査と比較すると、サービス業以外の業種において悪化が見られた。



自社の景況	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-30.3	-7.9	-24.4	5.9
製造業	-25.5	-7.9	-16.7	8.8
建設業	-7.3	-5.0	6.7	14.0
卸売業	-60.0	-10.0	-58.1	1.9
小売業	-57.1	-24.8	-22.2	34.9
サービス業	-16.7	3.8	-34.4	-17.7

## 【売上高(受注高)】

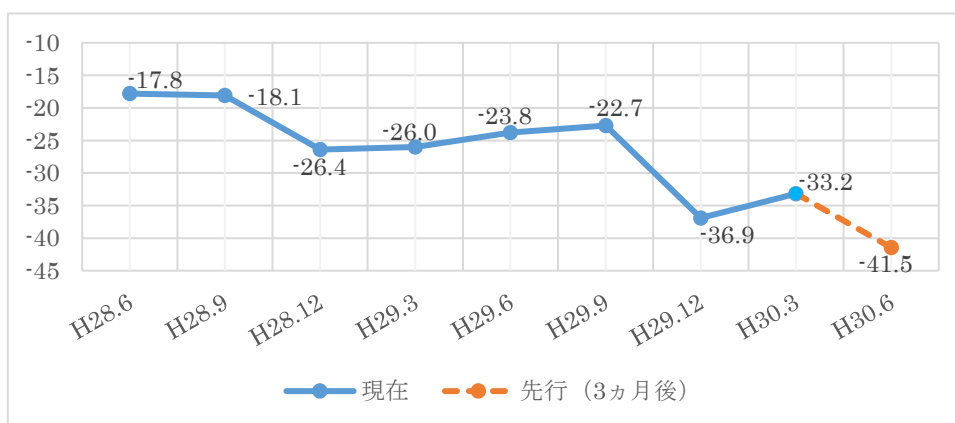
売上高(受注高)の状況を表す現在DI値は▲28.0となり、前回調査から10.4ポイントの悪化となった。3ヶ月後の先行DI値は、▲22.8と現在より5.2ポイントの改善を予測している。業界別には、製造業が▲18.2、建設業が▲9.8、卸売業が▲62.9、小売業が▲39.3、サービス業が▲22.0となった。前回調査と比較して、建設業のみの改善となった。今後3ヶ月後の見通しは、サービス業のみが悪化する見込みである。



売上高	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-28.0	-10.4	-22.8	5.2
製造業	-18.2	-6.9	-16.7	1.5
建設業	-9.8	9.2	0.0	9.8
卸売業	-62.9	-41.0	-48.6	14.3
小売業	-39.3	-22.1	-29.6	9.7
サービス業	-22.0	-1.1	-26.8	-4.8

## 【仕入価格】

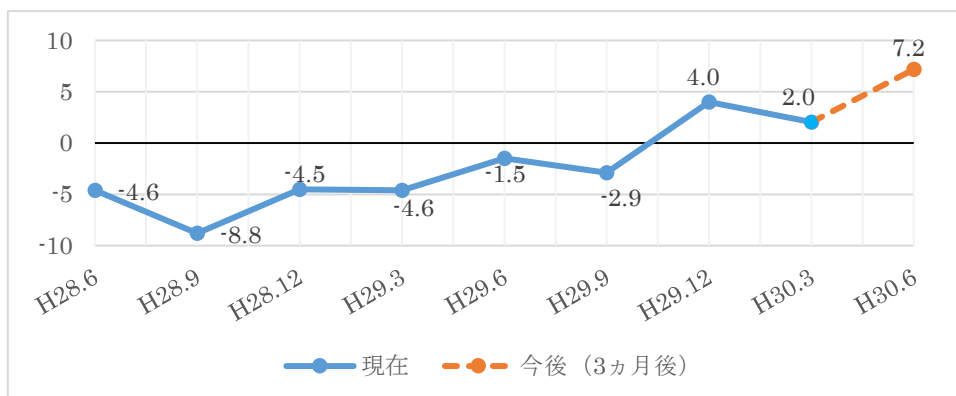
仕入価格の現在DI値は▲33.2で、前回調査から3.7ポイント増となり、2期ぶりの改善となった。3ヶ月後の先行DI値は▲41.5と、現在と比べて8.3ポイント減を予測している。業種別では、製造業が▲36.4、建設業が▲39.0、卸売業が▲41.2、小売業が▲17.9、サービス業が▲26.3となった。3ヶ月後の見通しは、建設業以外は悪化する見込みである。



仕入価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値-現在DI値)
全体	-33.2	3.7	-41.5	-8.3
製造業	-36.4	6.2	-44.4	-8.0
建設業	-39.0	-8.0	-39.0	0.0
卸売業	-41.2	-6.8	-58.8	-17.6
小売業	-17.9	23.5	-18.5	-0.6
サービス業	-26.3	7.9	-40.5	-14.2

## 【販売価格】

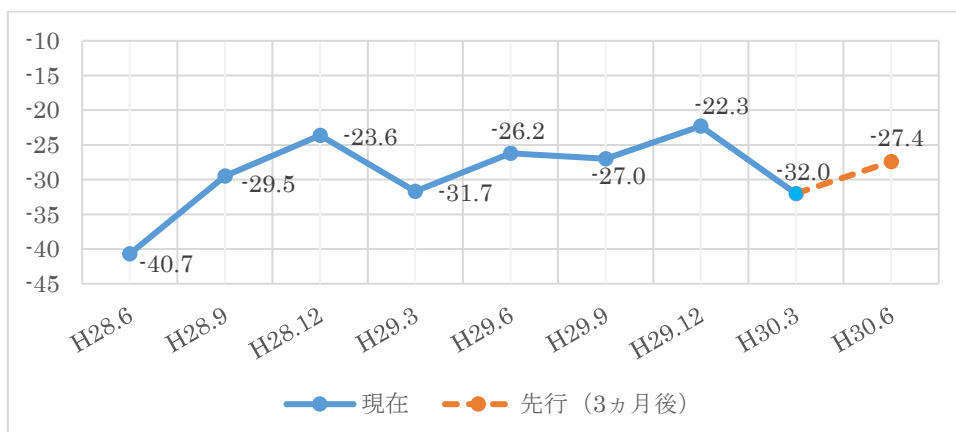
販売価格の現在 DI 値は 2.0 となり、前回調査から 2.0 ポイント悪化している。3 ヶ月後の先行 DI 値は 7.2 で、5.2 ポイントの改善が予測される。業種別では、製造業が▲1.9、建設業が 5.0、卸売業が 0.0、小売業が 7.1、サービス業が 2.5 となった。業種別の先行 DI 値については、建設業・サービス業以外は改善を見込んでいる。



販売価格	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	2.0	-2.0	7.2	5.2
製造業	-1.9	0.0	9.4	11.3
建設業	5.0	0.2	5.0	0.0
卸売業	0.0	0.0	8.8	8.8
小売業	7.1	-9.6	14.3	7.2
サービス業	2.5	-2.4	0.0	-2.5

## 【採算(収支)】

採算(収支)状況を表す現在 DI 値は▲32.0 と、前回調査から 9.7 ポイント悪化している。3 ヶ月後の先行 DI 値は▲27.4 で、現在と比べ 4.6 ポイントの改善を見込んでいる。業種別では、製造業が▲27.3、建設業が▲17.1、卸売業が▲60.0、小売業が▲35.7、サービス業が▲26.8 となった。3 ヶ月後の見通しは、全業種において改善する見込みである。

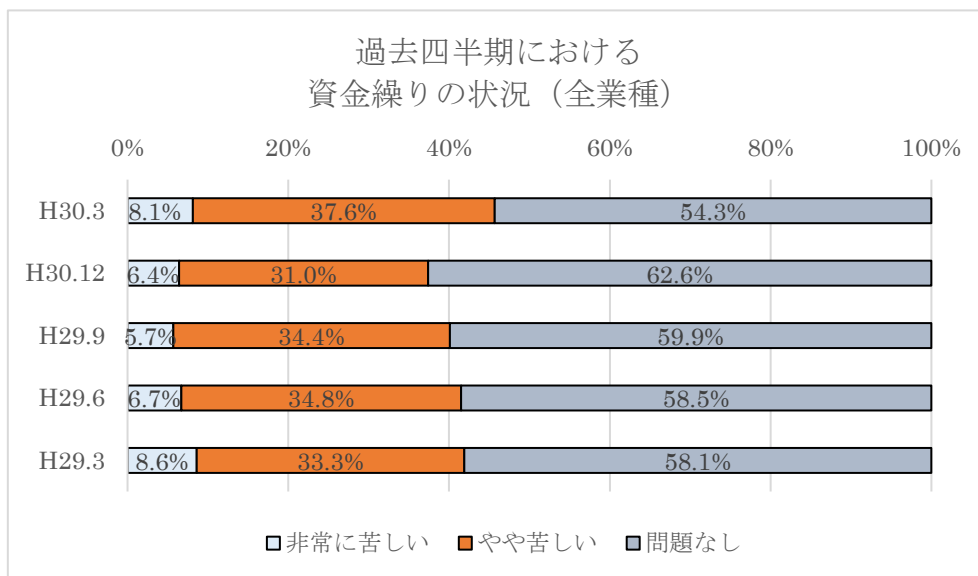
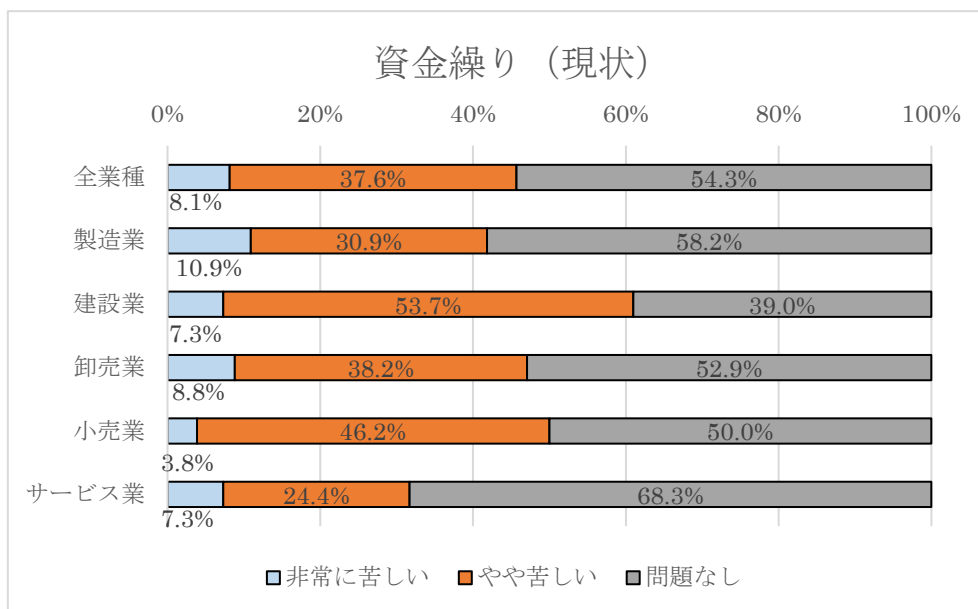


採算(収支)	現在DI値	前期比	先行DI値	見込み (先行DI値－現在DI値)
全体	-32.0	-9.7	-27.4	4.6
製造業	-27.3	-5.1	-24.1	3.2
建設業	-17.1	-0.8	-12.2	4.9
卸売業	-60.0	-22.5	-54.3	5.7
小売業	-35.7	-25.7	-26.9	8.8
サービス業	-26.8	-1.2	-24.4	2.4

## 【資金繰り】

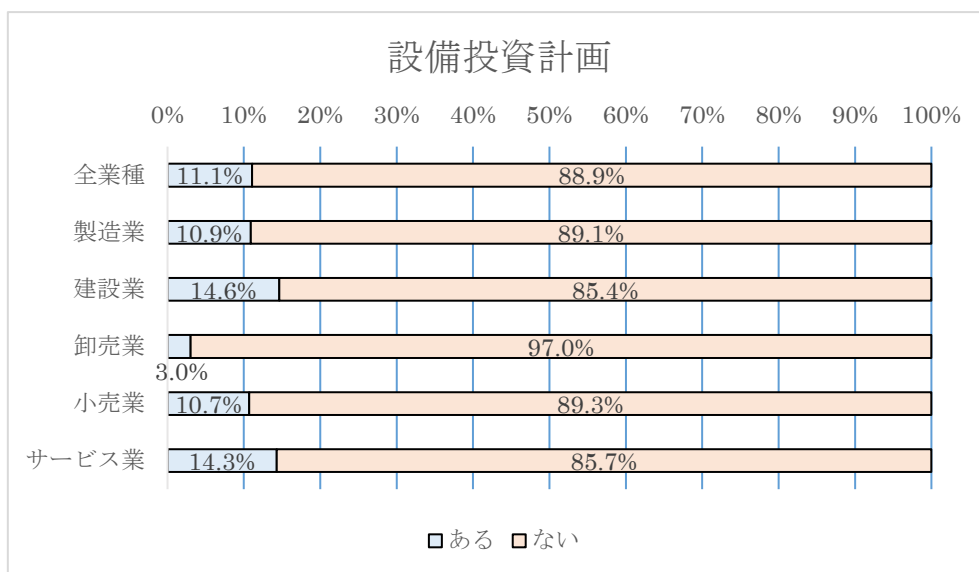
資金繰りの状況は、全業種の54.3%が「問題なし」と回答しており、業種別では、サービス業の資金繰りが比較的安定していると言える。

過去四半期の資金繰り状況と比較すると、H29.3期から「問題なし」の回答率が每期上がっていたものの、今回のH30.3期は「問題なし」の回答率がH29.3期を下回る結果となった。



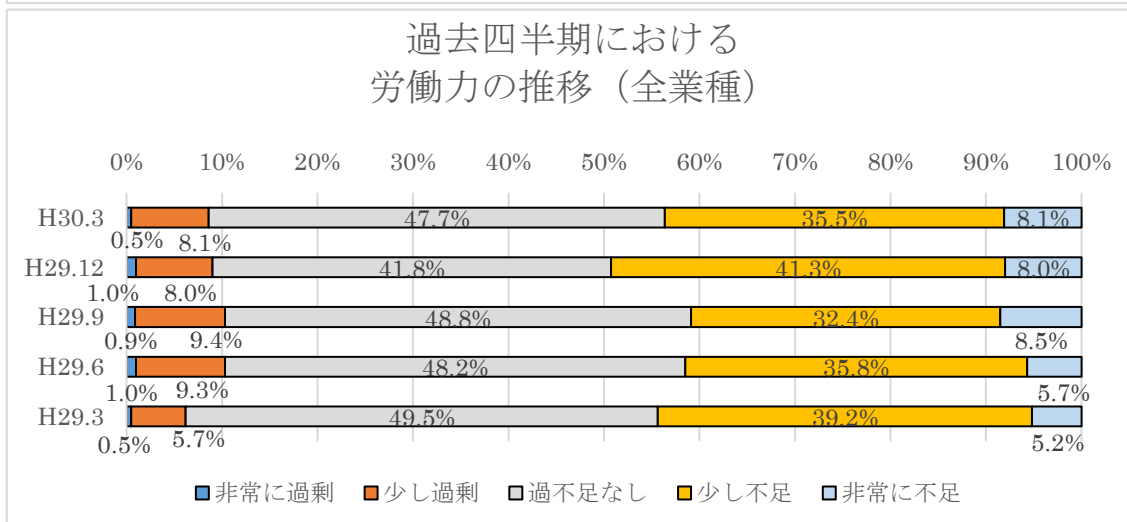
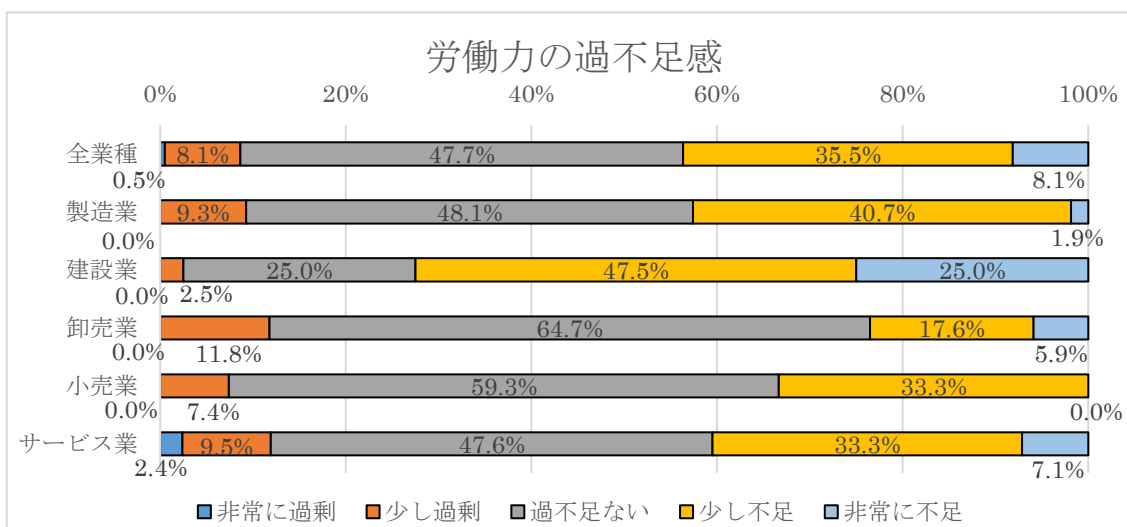
## 【設備投資】

今後3ヶ月以内に設備投資の予定があるかどうか伺ったところ、全業種では11.1%が「ある」と回答している。業種別では「ある」と回答した事業所は、建設業が14.6%となっており、他業種と比べると高い結果となった。



## 【労働力】

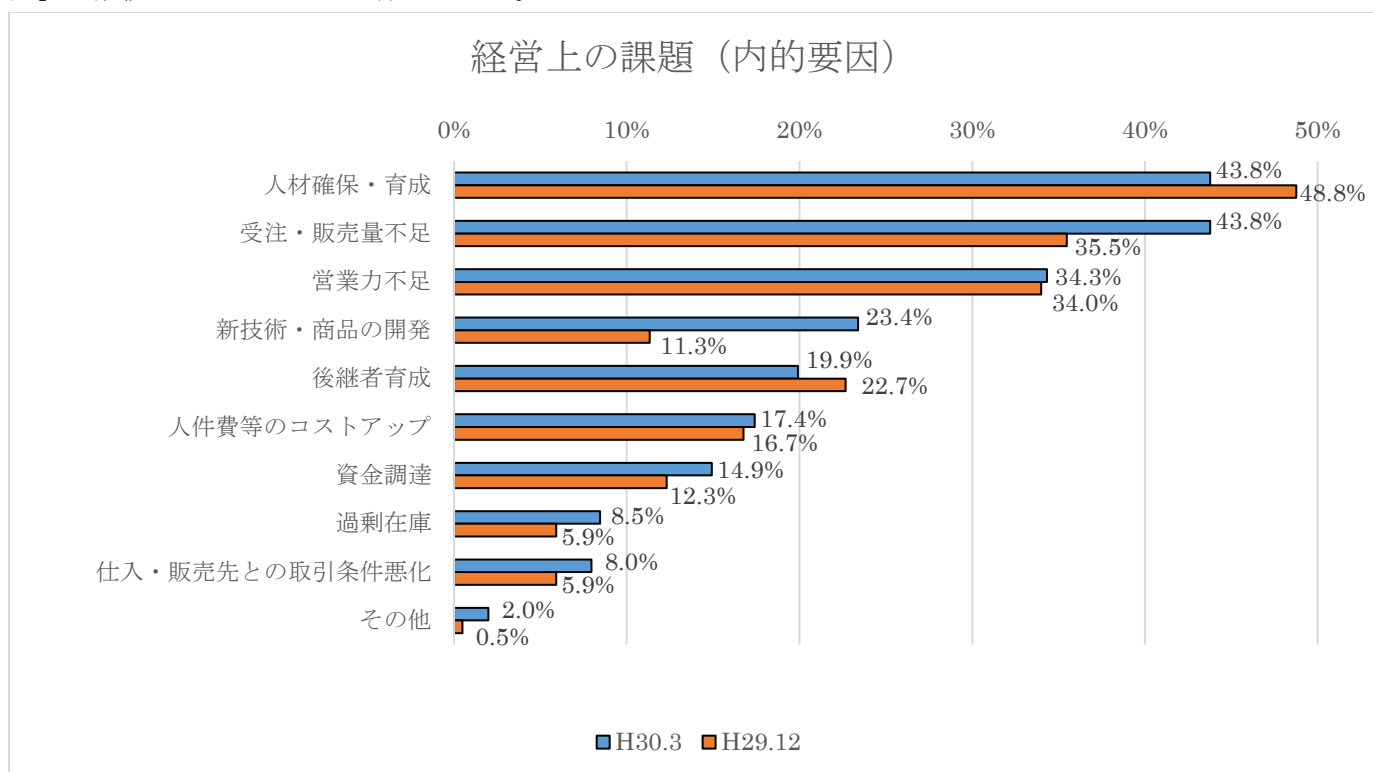
労働力の過不足感については、全業種では47.7%の事業所が「過不足ない」と回答した一方で、35.5%の事業所が「少し不足」と回答している。業種別では、建設業が「不足している（「少し不足」＋「非常に不足」）」と回答した割合は72.5%になり、依然として他業種と比べて非常に高い状態が続いている。





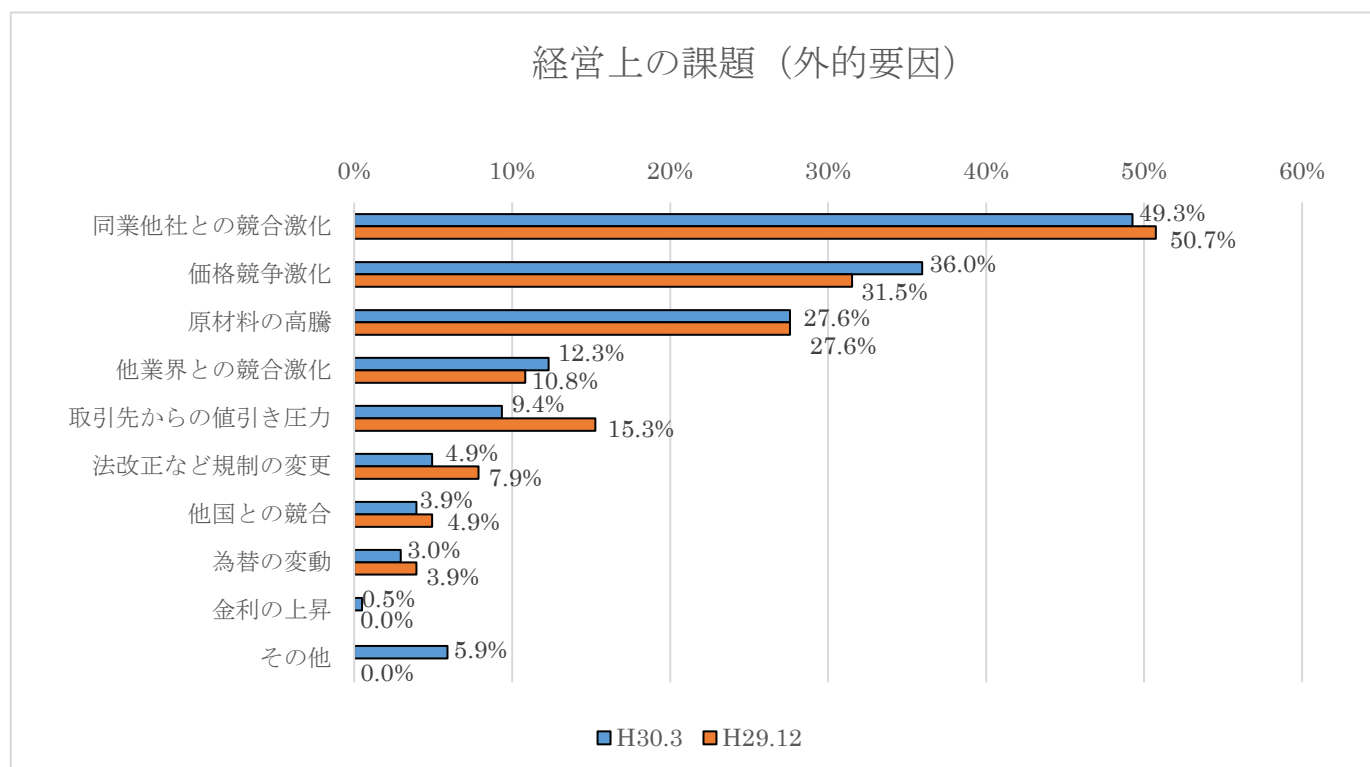
## 【経営課題(内的)】

経営上の課題（内的要因）については、「人材確保・育成」を課題にしている事業所の割合が前回調査時より5.0ポイント下がったものの、依然として最も高い回答率であった。今回の調査では、「受注・販売量不足」の数値が「人材確保・育成」と並ぶ43.8%であり、豪雪の被害が影響していると見られる。また、「新技術・商品の開発」の数値は23.4%と大きく伸びている。



## 【経営課題(外的)】

経営上の課題（外的要因）として、半数近くの事業所が挙げたのが前回調査時と同じく「同業他社との競争激化」であったが、数値は前回調査時の数値より低い。また、次に数値が高い課題は「価格競争激化」「原材料の高騰」と続く。他には、「取引先からの値引き圧力」が前回調査時より大きく下がっている。

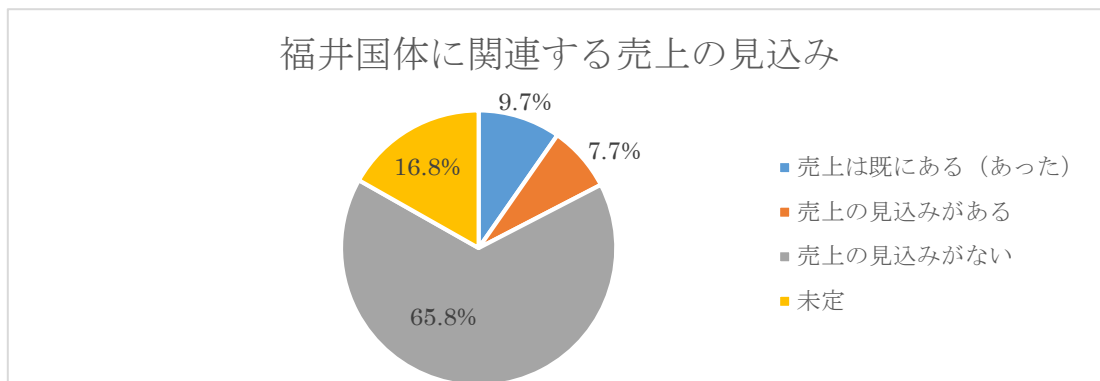


## トピックス調査【福井国体について】

50年ぶりの開催となる福井国体まであと半年余りとなり、今回の景気見通し調査では、福井国体の小規模事業所に与える影響などについて伺った。

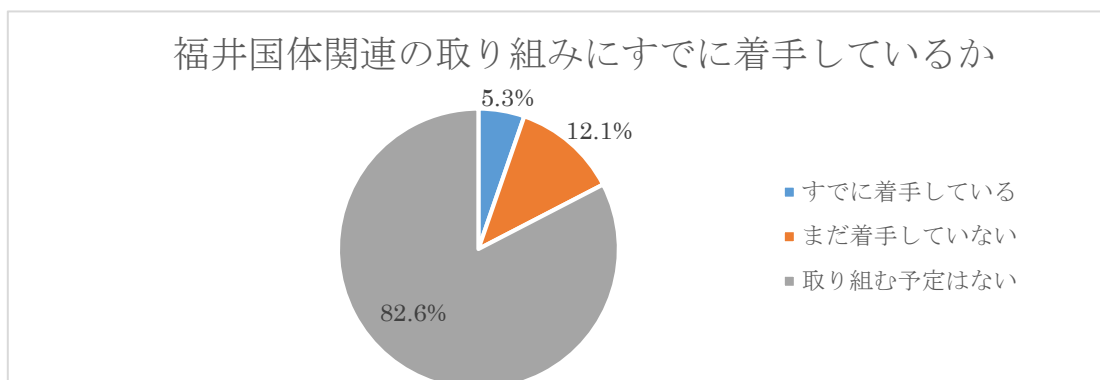
### 《福井国体に関連する売上の見込み》

福井国体に関連する売上の見込みがあるか伺ったところ、「売上は既にある（あった）」が9.7%、「売上の見込みがある」が7.7%となり、合わせて17.4%が売上を見込む。なお、65.8%は「売上の見込みがない」の回答となった。



### 《福井国体関連の取り組みにすでに着手しているか》

福井国体関連して何か取り組みを着手しているか伺ったところ、「すでに着手している」が5.3%、「まだ着手していない」が12.1%となり、合わせて17.4%が何らかの取り組みを考えている。なお現時点では約8割の事業所が「取り組む予定はない」との回答となった。



### 《福井国体に際して取り組むこと》

福井国体に際して、何に取り組むか伺ったところ、「他社とのコラボレーション」「特別商品の開発・販売」が21.2%と最も多い結果となり、以下「既存商品・サービスの見直し」などとなった。

